



みんなの回生



■ 胸が苦しくなることはありませんか??	2
■ その足の症状、歳のせいだとあきらめてませんか??	3
■ 回生病院 がん患者さんサポート体制のご紹介	4・5
■ 認定作業療法士を取得して	6
■ 「医療コンシェルジュ」の紹介	7
■ 平成29年度 大規模地震時医療活動訓練に参加	8
■ 山の話 (45)	9
■ さかいで大橋まつり	10

● 医事課より患者さまへお知らせ

平成28年1月より、毎月初めての受診日には、総合受付窓口にて保険証、現住所、ご連絡先等の確認をさせていただくことといたしました。また、保険証等変更があればその都度お申し出て下さいますようお願いいたします。

回生病院理念

皆さまに愛され信頼される病院を目指します

回生病院基本方針

- 一、私たちは質の高い医療を提供します
- 一、私たちは保健・医療・福祉と連携を図ります
- 一、私たちは予防医療の充実に努めます

患者さまの権利と責務

- 一、患者さまには、最善で公平な医療を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療内容について十分な説明と情報を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療行為について選択・同意・拒否する権利があります
- 一、患者さまには、個人情報保護される権利があります
- 一、患者さまには、自らの健康に関する情報を提供する責務があります
- 一、患者さまには、病院の規則を守る責務があります

題字揮毫
元県知事・前川忠夫

2017年9月
285号



胸が苦しくなることはありませんか??

心臓・血管センター課長 村西 寛実

現在、本邦は食生活の欧米化や生活環境の多様化等により高血圧、高コレステロール血症、糖尿病といった生活習慣病に罹患する患者様が急増しています。また、それに伴い我が国の主要死因及び疾病構造は急激に変化し生活習慣病による動脈硬化進行が原因となる心血管系疾患の罹患率が増加しています。それら心血管疾患のなかに「急性心筋梗塞」や「労作性狭心症」といわれる病気があります。そもそも心臓という臓器は主に以下の2つから構成されています。1つ目は心筋といわれる血液を全身に送り出すポンプで、2つ目はその心筋を取り囲み栄養分を運んでいる冠状動脈という血管です(図1)。これらの関係は例えるなら、車のエンジンとガソリンを運んでいるパイプの関係に似ています。車はエンジンのみでは動きません。エンジンに繋がっているパイプのなかをガソリンが流れてはじめてエンジンは動き、車は走ることが可能となります。我々の心臓も同様で、心筋(エンジン)のみでは動くことはできず冠状動脈(パイプ)を經由し栄養分(ガソリン)が運ばれてはじめて心臓は動くことが可能となるのです。さて、話を戻しますと先述の「急性心筋梗塞」や「労作性狭心症」といった病気は生活習慣病や喫煙習慣が原因となり、この冠状動脈という栄養分を運搬しているパイプに脂質成分が蓄積し閉塞あるいは狭窄するという疾患群になります(図2)。栄養分を運んでいる血管が根詰まりするわけですから、心筋に不調が出てくることとなります。エンジンであればガソリン不足になると警告音を発してくれますが我々のカラダからは警告音は鳴りません。ぜひ、我々のカラダが発する「胸が重苦しい、胸に違和感がある」、「肩や歯、背中、胃などが痛い」、「以前よりも息切れが激しい」などの様々な警告音に耳を澄ませていただき早期発見・早期治療に繋がっていただければと思います。特に生活習慣病で治療中の患者様や喫煙習慣のある方は高リスクとなりますので、上記のような警告音が鳴っているようでしたら当院心臓・血管センターにて冠動脈CT(図3)など精度の高い検査を一度お受け頂き一緒に治療方針を考えさせていただければ幸いです。

図1



図3

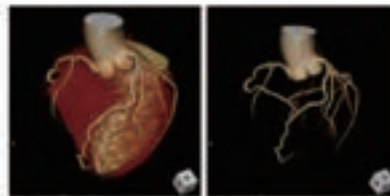
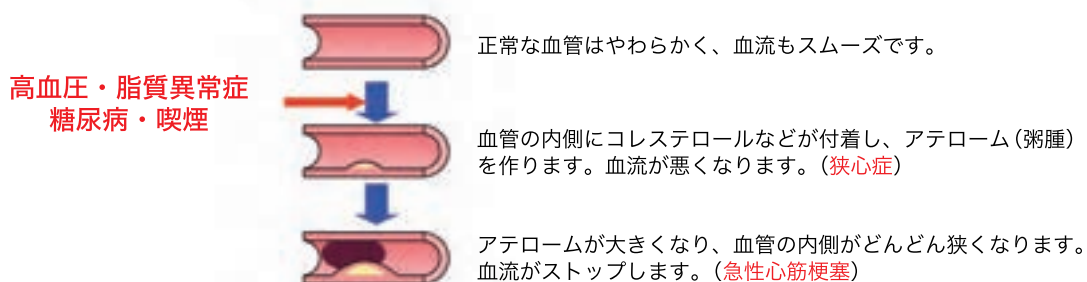


図2



その足の症状、歳のせいだとあきらめてませんか??

心臓・血管センター課長 村西 寛実

生活習慣病を背景とした動脈硬化進行に伴う疾患は、心臓や脳などに動脈硬化が起きる心筋梗塞や脳梗塞などがよく知られていますが、実はそれ以外にも全身に行き渡っているすべての動脈に動脈硬化は起こり得ます。足の動脈において動脈硬化が進行し血流低下が進むと歩行時に足が重くだるくなったり、歩行距離が短くなったり、歩くこと自体が億劫になったり様々な初期症状が出現します。さらに症状が増悪すると安静時のしびれや冷感、痛みを伴うようになり重症ともなると壊疽に至り下肢切断を余儀なくされるケースもあります。これら足の動脈硬化進行に伴う病気を「閉塞性動脈硬化症」といいます。閉塞性動脈硬化症は、一般的に症状が緩徐に進行することが多く、「歳のせい」だと思い治療をしていない人が少なくありません。実際、日常診療においてもよくよく聞いてみると随分以前から足が怠かった、いつからか歩くのが億劫になっていたと言われる患者様も多くおられます。閉塞性動脈硬化症の診察においてはABIという簡便な検査(図1)があります。当院心臓・血管センターではABI値が異常であった場合にはさらに下肢動脈エコー検査や下肢CTアンギオグラフィ(図2)等の精密検査を実施し治療方針の検討を行っております。治療方法としては薬物治療、カテーテル治療、バイパス手術などが挙げられ血管の状態を含めた患者様の状況に応じ治療方法の選択を行っておりますので、ご自身の足をチェックいただき(図3)、該当されるようでしたらその足の症状、歳のせいだとあきらめずに一度、当センターまでお越しいただきご相談いただければと思います。

図1

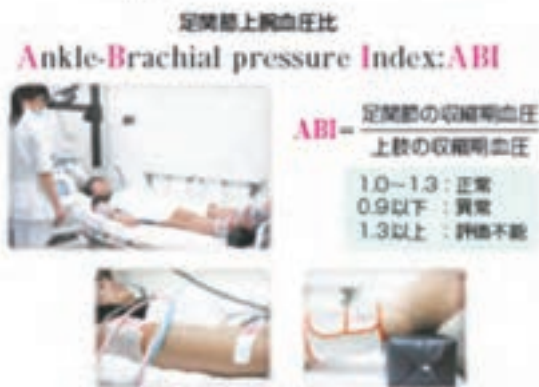
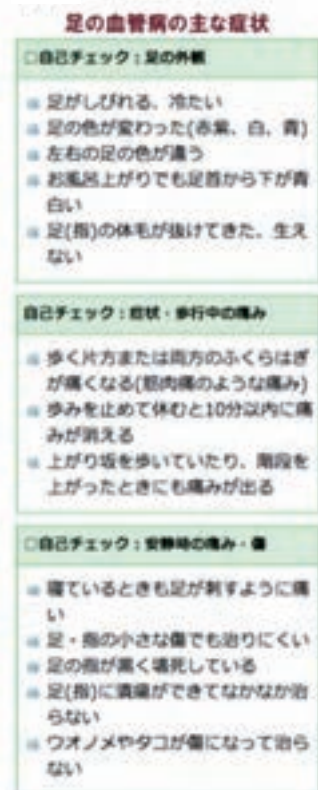


図2

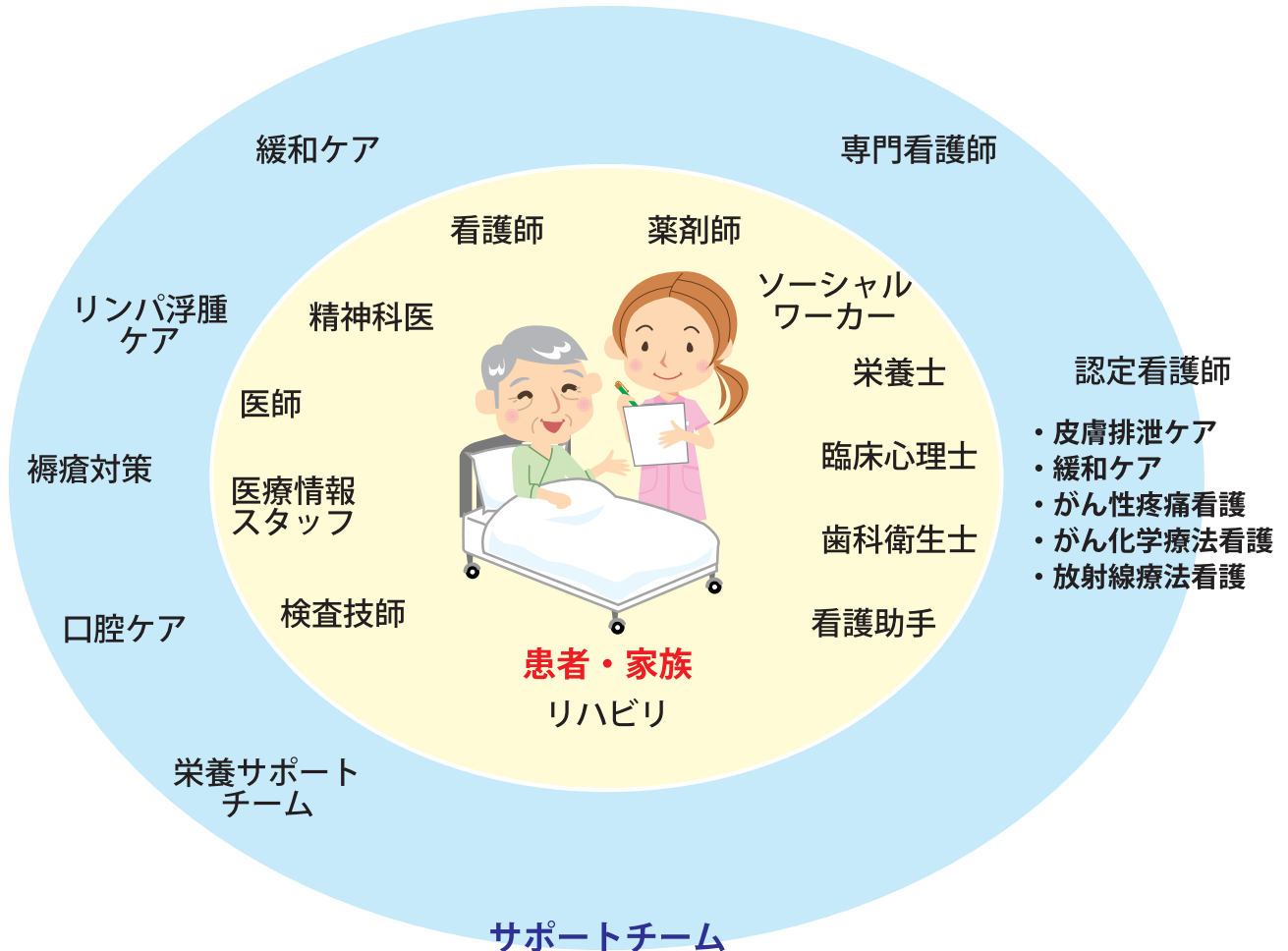


図3



回生病院 がん患者さんサポート体制のご紹介

私たちは、がん患者さんの治療を チームでサポートしています



緩和ケアは、患者さんや、ご家族に対して身体や心の辛さを和らげ、生活やその人らしさを大切にし、病気になったときから誰でも、いつでも受けることが出来るケアです。痛み止めを飲んでも効かない、夜 病気のことを考えると不安で眠れない、気持ちが落ち込んで生活が楽しめない、食事が食べれない、治療をしながら仕事を続けたいなどの心配や気がかりなことを一緒に考えて、今までどおりの生活がおくれるようサポートさせていただきます。また、「緩和ケアって何をしてくれるの？」などの素朴な質問にもお答えさせていただきます。

緩和ケア認定看護師

西川美智子

褥瘡（床ずれ）や創傷（皮膚の傷など）のケアなど、失禁やそれに関連して起こる皮膚障害、ストーマ（人工肛門や人工膀胱）のケア、スキンケアなど幅広く対応しています。治療をおこなっていく中で、ストーマのトラブル（かゆい、ただれる、装具がうまく合わないなど）や、残尿感、頻尿などの排泄障害で悩みを抱えている方も多いと思います。患者さんや・家族の皆さんが安心して治療が行えるよう他の職種と連携し、入院中から外来まで継続的なケアを行っていきます。身近で気軽に相談できる窓口となり、不安が安心に代わることを願い、活動しています。ぜひ、一度ご相談ください。

皮膚・排泄ケア認定看護師

近石あゆみ

がん性疼痛看護認定看護師

池田三千代

がんの症状の中で多くの方が訴えるのが“痛み”です。痛みが生じることで日常生活が制限されたり、治療の持続が難しくなってしまう。痛みの状況を確認し、お薬の効果判定や副作用の出現がないよう調整のお手伝いをしています。その他、治療に伴う様々な問題にも、ご相談させて頂いております。お気軽にご相談下さい。

がん化学療法看護認定看護師

奥空美紀

化学治療とは、抗がん剤治療のことです。しんどくて辛い治療をイメージしている方がほとんどだと思いますが、現在では副作用症状を緩和する薬も開発されています。副作用症状の程度や出現時期は個人それぞれ異なり、ご自身で副作用に対処できるような一緒に考え、がんと共にいきる力を支える一助となることができばと思っております。治療や副作用、費用のことなど、分からないことや不安なことは一人で悩まずに声をおかけください。

放射線療法看護認定看護師

佐伯直美

放射線治療は、がん治療のひとつとして全国で多くの患者さんに利用されています。放射線の副作用の出現する症状、時期や程度には

治療の症状によって個人差があります。分かりやすく説明しながら患者さんやご家族と共に、治療は継続できるように支援していきます。

化学療法チーム薬剤師

緩和ケアチーム薬剤師

細谷奈央
武智友希

私たち医療スタッフは、専門的知識を集合し、患者さんにとって何がベストかを考えてケアを実施します。薬剤師は、がん治療のために使う薬の提案や、持病のために飲んでいる薬との飲み合わせを確認します。また最近では、医療用麻薬の種類も増え一人ひとりの痛みに応じた薬を使用できるようになっていますので、痛みのコントロールを行い全身の痛みの症状を和らげ安らかな生活を行えるようにサポートしています。薬のことで心配あれば、いつでも相談してください。

リハビリ

細田知美

がんのリハビリでは、がんになっても、これまでどおりの生活をできるだけ続けて、自分らしく過ごせるようにお手伝いします。手術の後、痛みでベッドから起きるのが辛いとき、治療で体がだるくうごこのがおつくうになつた時、体の痛みで身の回りのことが出来なくなつた時など体調に応じて軽い運動や気分転換、痛みをやわらげるマッサージなどを行います。また、(がんのリハビリは患者さんだけ

でなく、ご家族のサポートが含まれます。)患者さんやご家族の負担を減らすために、介護のコツをお伝えしたり、ご自宅の生活環境を整えるアドバイスなども行っています。

サポートチームメンバー



認定作業療法士を取得して

リハビリテーション部 作業療法課 桂 雅俊



この度、2017年3月に認定作業療法士を取得することができました。このような認定資格を取得することが出来たのも患者様をはじめ、度重なる出張へのご理解とご協力をいただきました病院、ならびにスタッフの皆様方のおかげであると身に染みて感じております。

私は現在、入院患者様のリハビリに加えて、介護保険を利用し自宅から通って来て行う通所リハビリテーション（デイケア）にも携わっております。今後は、回生病院が培ってきた急性期病院としての役割に加えて、地域包括ケアシステム構築の一端を担えるように通所リハビリにおける地域との連携・協業を意識し、日々の業務に取り組んで参りたいと思います。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

認定作業療法士取得について

リハビリテーション部 作業療法課 小亀 祐希



2017年7月時点で認定作業療法士は県内で17名おり、内6名が当院に在籍しております。一施設で認定作業療法士が複数名在籍している施設は非常に少ない現状です。また、本認定を所得するためには、所属する病院の協力も得て取得できるものであり、研修会で全国の作業療法士と意見交換し、研究や学術発表等を経て得てきた知識や経験を臨床の場で患者さんに還元していけたらと考えています。

医療コンシェルジュ

平成29年5月より回生病院では医療コンシェルジュというスタッフを配置しております。まだ聞きなじみのない名前だと思いますので、ここで少しでも簡単にご紹介させて頂きたいと思っております。

「医療コンシェルジュ」と言っても、各医療機関によって、その業務や役割はさまざまです。回生病院では、主に午前中の外来診療において患者さまのお手伝いをさせて頂いております。総合受付カウンターの周辺では、受付・会計・各種診断書や証明書などの手続きについて患者さまからのお問い合わせに対応させて頂いております。玄関周辺では車椅子やストレッチャーのご用意や移動のお手伝い、診療科や病室へのご案内も承っております。

*初めての来院、久しぶりの来院、複数科に受診予定... まず、どうしたらいい？

*入院費、診療費... どこでどのように支払えばいい？

*体調が悪い... 何科に受診すればいい？

*〇〇へはどのように行けばいい？

*お見舞いのお部屋が知りたい...

など、何でも聞いて下さい。

また、車を駐車中の受付の代行や診療科へのご案内、患者さまの見守りなど... お付き添いの方のお手伝いもさせて頂きます。

私たちに出来ることは全力で対応させて頂きます。また、ご相談頂ければ適切な窓口の専門スタッフへ迅速にお繋ぎいたします。お困りの際はお気軽にお声かけ下さい。

日頃より患者さまにはさまざまな面でご負担をおかけしていると思っております。現状では解決に向けて時間を要することが多くあることも事実です。

微々たる力かと思いますが、私たちに出来るお手伝いから全力でさせて頂くつもりです。患者さまに寄り添った対応を心がけ、患者さまと回生病院を繋ぐ存在となる事を目指して日々精進して参りたいと思っております。まだ始まって日が浅く、不十分な所も多くあると思っておりますが、来院される皆様からのお声を頂きながら進んでいきたいと思っておりますので、お気づきの点がございましたら遠慮なくお申し付け下さい。



平成29年度 大規模地震時医療活動訓練に参加

DMAT委員会

さる、7月28日（金）29日（土）に政府主催の上記訓練に、当院DMAT隊員6名が参加しました。

訓練は、7月28日（金）正午に南海トラフを震源とした巨大地震が発生し、三重県・大阪府・和歌山県・兵庫県が被災したとの想定で開始されました。被災地内では94の病院が訓練に参加し、全国から351チームのDMATが訓練プレーヤーで参加しました。また、訓練を円滑に進め、評価判定を行う訓練コントローラーも381名が指名されて参加しました。

当院から参加したDMATのうち5名は、姫路赤十字病院内に設定された、西播磨・中播磨医療圏DMAT拠点本部の設営と運営に参加しました。また、1名は淡路島に設置されたSCU（広域医療搬送拠点）における訓練コントローラーとして参加しました。

隊員代表：高木孝太

私は、西播磨・中播磨医療圏DMAT拠点本部の運営に参加しました。この本部では、管轄下の医療機関の被災状況を把握して広域災害救急医療情報システム（EMIS）で発信する役目や、管轄下の病院への支援（医療班・医薬品・生活必需品など）、あるいは病院避難（倒壊の恐れのある病院から安全な施設へ医療搬送すること）といった活動が想定されていました。私は今回の訓練において、衛星携帯電話を使用し、兵庫県災害医療対策本部やドクターヘリ調整本部・管轄下の病院の災害対策本部との通信連絡を行いました。衛星携帯電話は、携帯電話や固定電話、インターネットが使用できなくなった時でも、情報通信ができるため、情報の最後の砦です。当院でも2台の衛星携帯電話を保有しています。今回私はこの訓練に参加し、近い将来起こりうる恐れのある東南海・南海地震に際し、当院ももっとしっかり対応できるように備えなければならないと切に思いました。地域の方々の期待に添えるよう、院内体制のますますの充実をしていきます。



● 山の話 (45)

鎌田壽夫

▼ 比叡山（八四三m）その六 ▲

最澄は唐から無事に帰国して、桓武天皇に「かねての願いであった天台宗について納得がいくまで学ぶことができました。そのうえ、ほんの少しですが最近中国で話題になっている密教という教えも学ぶことができました」と報告しました。

すると天皇は、「なに、密教の教えを学んできたというのか！ それはなんとうれしいことだ。密教というのは、信じれば願いをかなえてくれる頼りになる教えと聞いている。いま国内には、いろいろの災いが起こっているし、じつは私は弟の怨霊にたたられて困っているところなのだ。ぜひ、おめしの学んできた密教で、私と国を救ってくれ」といわれたのです。

密教について少しふれます。

仏教の始祖である釈迦は紀元前五世紀ころに亡くなりましたが、そのあとで釈迦の考えを継ぐ人々によってたくさんの方や実践の方法（経典）が次々とできてきました。たとえば、最澄がもつとも重要だとした法華経（天台宗の根本）は紀元一世紀ころにできたものです。いっぽう、密教ができあがったのは、もつとあとで七世紀ころだそうです。

この密教の教義と実践の方法は、それまでの

仏教とはそうとう異なっています。

教義のどこが違うかについて述べるのは私には無理なので、密教の儀式に参加した経験だけ書いておきます。

お祈りの時に火を使うのが特徴です。赤々と燃え盛る炎の中に、御住職が願いの書かれた経木をつぎつぎと入れながらお経を読みます。これを、護摩を焚くといえます。お経の途中で「ノーマク・サマター・バーサラダン・センダー・マーカーロシャター・ソワタヤ・ウンタラター・カンマン」と何回も唱える場面があります。これは、サンスクリット語で密教を代表する仏である不動明王に対するお願いで、この呪文のような言葉を「真言」といいます。「不動明王よ。迷いを打ち砕きたまえ。障りを除きたまえ。願いを成せしめたまえ」という意味だそうです。

桓武天皇はそのころ病床にあつて気が弱くなっていたのでしよう。願いをかなえてくれる密教の可能性に頼ろうとしたのもわからないわけではありません。

そうだとしても、最澄はがっかりしたことでしょう。最澄は天台宗こそ最も優れた教えであると思われて唐まで行ってきたのに、天皇はそんなことよりも、自分が大事だと思つてもいかなかった密教につよい関心を抱いたのですから。でも、天皇の命令ですから、仕方ありません。もちかえった、密教の経典や仏具を用いて、日本人として初めて密教の布教を始めたのです。

（続く）



（図、右）成田山新勝寺で行われている護摩焚きの様子。住職は願いの事を書いた経木をつぎつぎと火の中に入れる。
（図、左）密教で使われる法具、金剛杵。両端に刃がついていて、まん中を握る。もとはインドの武器。悟りをさまたげるものを払うシンボル。

さかいで大橋まつり 2017.8.5(土)

